

大綱づくりを伝承



(株)まちづくり阿蘇・一の宮(代表:長尾章)の皆さんが、「あそ伝承村ふるさとおもしろ館」の行事の一つとして、寒夜綱引きで使っていた綱づくりに挑戦しました。これは、綱づくりのできる者が高齢化などで、途絶えてしまわぬよう企画したもので、阿蘇神社前の中央駐車場でづくり方を知る有志の指導の下、馬車の車輪でねじり、綱目に竹を差し込み一編みごとにずらしながら25mの綱を完成させました。本来のものは直径30cm、長さ100mもあるそうです。

なお、今回伝承された綱づくりの仕方はビデオに撮って市役所に保存してありますので、興味のある方はお問い合わせください。

※寒夜綱引きは10年前まで、旧正月の夜に仲町通りで行われていた行事で、上組(阿蘇神社側)が勝つと畑が豊作、下組が勝つと米が豊作と、その年の収穫を占っていました。

～芸術と文化の祭典～

阿蘇市文化祭 華やかに開催

第1回阿蘇市文化祭が11月1～3日、阿蘇体育館で盛大に開催されました。

4月に旧3町村の文化協会が合併し結成した阿蘇市文化協会(会長岩永浩さんほか1,300人)が主催する初めての文化祭とあって、参加者は展示部門、ステージ部門あわせて約850人に上りました。また、文化協会の方々が日ごろから培われた芸術作品や舞台出演を一目見ようと、連日多くの市民が観賞に訪れ、すばらしい作品の数々を楽しみました。



地域の方々をお客様にみたくて

～高校生が接客マナーを実習～



阿蘇高校商業科の国際観光コースの2・3年生は、日頃、授業で学んでいる接客マナーが一般の方にも通用するか、また、開かれた学校づくりの一環として、近くの西2区寿老人クラブ(井田良作会長)の皆さんを学校に招待しました。

「いらっしゃいませ、ごゆっくりどうぞ」と、入口で、きちんと勢ぞろいした高校生ボーイさんたちがお出迎え。お年寄りを一人ひとり丁寧にテーブルに案内してカップにコーヒーを注ぎ、日ごろの練習の成果を披露しました。お年寄り達は生徒の懸命なもてなしに感心していました。

コンクールで入賞した

「阿蘇の観光について」の発表を再現

また、この機会にぜひ見てもらおうと、熊本県高等学校生徒商業研究発表大会(7月開催)で3位になった研究・発表を再現。

高校生から見た阿蘇の観光についてお年寄り達も意見を交わし、それぞれの立場で阿蘇を盛り上げよう!などの話をきっかけに互いの交流を深めました。

旭日双光章を受章

～ 佐藤次喜さん ～

佐藤次喜さん(竹原)が、旭日双光章を受章し、11月9日に農林水産省(東京)で、伝達式が行われました。

佐藤さんは、昭和50年に阿蘇町議会推薦で農業委員に選任、以来26年4ヵ月にわたり、地域農業発展の基礎となるべく農地行政に貢献されました。特に、平成2年から15年間は農業委員会会長並びに熊本県農業会議会議員を務めるなど、その功績が認められ今回の受章となりました。

伝達式には、ご夫婦で出席され喜びを分かちあわれました。佐藤さんは、「皆さま方のご指導、ご協力の賜だと思い、受章できたことに感謝しています。今後はこの章に恥じないように生活を送りたいと思います」と話されていました。



「ジュニアあぜみち探検隊」 が観察発表



10月20日、熊本交通センターホテルで、「統計の日」を記念して「農林水産大臣感謝状伝達式」(九州農政局主催)が行われました。

式では、九州農政局が任命した「ジュニアあぜみち探検隊」が水稻観察結果を発表。阿蘇市からは、阿蘇西小学校の5年生(27人)が任命されており、当日は、代表児童4人と担任の吉弘先生が、学校田での稲穂の数やもみの重さなどの観察結果を簡潔でわかりやすく報告し、観察を続けていく中で米作りに少しずつ興味がわき、これからもお米や食糧について学習を深めていきたいと発表を行いました。12月には、学校田で穫れたもち米で餅つきを行い、できたお餅を家族や地域の一人暮らしのお年寄りにも食べて頂く予定です。

県下の消防団 一堂に会する

今年度は阿蘇地域を開催地とする第25回熊本県消防大会・第12回熊本県幼年消防大会が、10月23日阿蘇体育館で開催され、県内の消防職員、消防団員、幼年消防クラブ員などが参加しました。

大会では、金澤副知事が「消防団の皆様の日頃の活動・活躍に感謝します」と、県知事あいさつを代読。県知事表彰や県消防協会長表彰の後、7団体が防災啓発を表現した消防コントやバンド演奏などを披露しました。

また、消防協会支部対抗綱引き大会もあり、熱戦がくりひろげられました。



▲阿蘇中央幼稚園の鼓笛隊

永年の功績をたたえ表彰

～小代勝久さん～

6期16年にわたり、民生委員児童委員として活動されている小代勝久さん(西3区)が、この程、九州社会福祉協議会連合会から功労表彰を受け、11月8日、市役所で伝達式がありました。

小代さんは、一の宮民生委員児童員協議会会長や阿蘇郡民生委員児童委員会会長連絡協議会副会長を歴任するなど、地域に貢献されており、「苦勞もいろいろとありましたが、私の活動が担当地区の方々の手助けとなり、喜んでもらえることがなによりも嬉しいですね」と感想を話されていました。おめでとうございます。



波野中学校建築工事が始まりました。

～完成は来年8月末～



10月25日、波野中学校(坂本光一校長、生徒数47人)の安全折願祭が、関係者80人が出席し行われました。

波野中学校は県内でもっとも古い鉄筋校舎で、地震の耐震性能調査も基準に達していないため、建て直しを行うことになりました。場所は現在の中学校のすぐ北側で、跡地は駐車場に利用されます。総工費は5億4千万円。校舎の特徴は寒い気候にも対処できるよう太陽光をたくさん取り入れるなどの工夫がなされ、1階には全校生徒で給食をとるためのホールが作られます。地域の方々もたくさん集まれる空間です。

工事関係者に佐藤市長が「子どもたちの喜ぶ姿を頭に浮かべ、しっかりした校舎を作り上げてほしい」と、家入議長が「今から大変寒い中での工事になるが、子どもに注意し安全に工事に取り組んでほしい」と挨拶し、子どもたち期待の校舎建設がよいよスタートしました。

図書館ワールド全開!

読書の秋。お話の世界のイベント楽しむ

11月13日、阿蘇市立阿蘇図書館・一の宮図書館が共同で「図書館まつり」を開催しました。これは、本や図書館への親しみを深めてもらおうと実施されたもので、会場の農村環境改善センターには各学校から寄せられた児童生徒の読書感想文や研究作品が展示。

最初に小学生がすばらしい童話発表を行った後、人形劇、童話「ぐりとぐらのカステラ作り」をまねたクッキング、古本配布などがありました。

中でもお話ボランティアの皆さんのお話会は、10m程の長紙に描いた手作り絵本や、ユーモアたっぷりのパネルシアターなど6話を披露、皆さんの心のこもった語りは子ども達に印象深く伝わりました。



▲おはなしボランティアの創作演出の様子



<図書館まつり童話発表者>

林 日向子(坂梨小1年)
 檜木野芳実(波野小4年)
 山室 可奈(宮地小5年)
 山本 雅進(阿蘇西小5年)
 奥 美月(乙姫小6年)
 河村 優(碧水小6年)

厚生労働大臣表彰受章



～中通隣保館指導員の森本義喜さん～

森本義喜さん(79歳 西井手)が、このたび厚生労働大臣表彰を受けられました。

森本さんは、昭和57年に阿蘇市中通隣保館(旧一の宮町立中通隣保館)の指導員として勤務。以来、現在まで、就職・住宅相談をはじめとする様々な隣保館活動に携わってきました。また、定期的の小・中・高校に出向き、同和教育推進活動にも務められるなど、その業務に精励した功績が認められ今回の表彰となりました。

伝統を受け継ぐ ～親子3代で神楽共演～



中江岩戸神楽の定期公演最終日となった11月6日、保存会のメンバー藤井利治さん(75歳)が、栄治さん(42歳)、優治朗君(12歳)、史治君(10歳)、治君(9歳)と、親子3代5人で神楽を披露しました。

「今日は、保存会の皆様のお許しを得て親子で神楽を披露いたします。最初で最後となるかもしれませんが、最後までよろしくお願ひします」と、栄治さんが挨拶。波野子ども神楽クラブの演奏で「五方礼始」を舞い、利治さんは「夢であった孫との神楽共演ができて嬉しい。一生の思い出となります」と、子ども達も「間違えなく舞えるか心配でした」と感想を語っていました。

「長男が来春、中学生になり神楽を舞う機会が減るので、家族で神楽を舞いたいと」栄治さんが企画。2週間の練習を重ねての披露となりました。



熊日レディーススポーツ ソフトボールで優勝!

第3回熊日レディーススポーツ大会ソフトボール大会が10月16日、菊池市で行われ、阿蘇レディースチームが優勝、阿蘇地区に初めて優勝カップを持ち帰りました。また、決勝戦でサヨナラ打を打った軽木智美選手が最優秀選手賞を獲得しました。

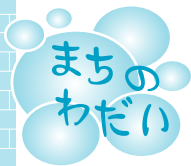
阿蘇フレンズは郡内の女性メンバーで構成され、平均年齢は40代半ば。ピッチャーの山内さんとキャッチャーの下田さんは合わせて108歳になるとのことで、そのパワーには驚かされます。真っ赤なユニホームで市長室に報告に訪れたメンバーは、「3度の飯よりソフトボールが好き」「チームワークが最高!」と勝利の秘訣を市長に語り、今後女性スポーツ活性に役立つようがんばりますと元気に宣言されました。



メンバー(市内)は以下のとおりです。

監督：原住 さわ子

選手：山内ひで子、下田清美、江藤春代、田嶋八代美、山本恵理、中野朋美、飛田 幸、軽木智美、佐藤佐由美、池田ヒデ子、佐伯 環、甲斐和代、岩下美智子、横田利律子



～阿蘇山のような世界級の阿蘇市へ躍進誓う～

阿蘇市誕生式典開催



旧一の宮町・阿蘇町・波野村が2月11日合併し発足した阿蘇市を記念した「阿蘇市誕生記念式典」を11月1日、阿蘇体育館で開催しました。

式典には、市民をはじめ国・県などの関係者、来賓など約600人が出席、阿蘇市の発展を誓いました。主催者を代表し佐藤市長が「阿蘇中部3町村合併推進協議会から法定協議会を経て、多くの関係者、また住民の皆様のご理解とご支援を賜り今日を迎えることができた。これに応えた合併効果を出すため市民の皆様と共に活力ある阿蘇市の創造躍進に総力をあげる」と挨拶。つづいて、合併功労者に総務省行政課総務室長井上氏から総務大臣表彰が贈られ、同じく熊本県知事表彰、感謝状の贈呈を行ないました。また、「阿蘇市誕生のあゆみ」放映の後、祝いのアトラクションとして、宮地小学校の牛舞、尾ヶ石小学校の虎舞、波野小学校の神楽を披露、子どもたちのすばらしい舞いは式典に華を添えました。

道路河川美化コンクール

栄冠は「狩尾西産水会」と「いこい通り」

阿蘇市主催、平成17年度道路河川環境美化コンクール表彰式が11月8日、市役所で行われ、22の応募団体の中から選ばれた優秀団体に賞状と記念品が贈られました。審査は、書類審査と現地視察の合計点で行われ、様々な目線で判定しようと、高校生4名、一般市民4名を含む12人が審査をおこないました。応募された団体は皆、日頃から道路や河川の美化活動に努め、地域の特徴を活かし、より美しく親しみが持てる環境整備を実現している団体です。



▲狩尾西産水会



▲竹原地区の「いこい通り」

最優秀賞のいこい通りの代表荒木正吉さんは「いこいの村までの道を5年前から美化整備し始め、年々美しくなっていますねと評判を得ています。観光客が多い通りなので、今後も懸命にやります」と、また同じく、狩尾西産水会の代表山本敬一さんの「今回の受賞を会員皆大変喜んでます。今後も他の団体の皆さんと一丸となって、阿蘇市を美しくします」との力強い言葉に、佐藤市長が「汗を流しがんばっている皆さんに心から感謝します」と各団体にお礼を述べました。

- 最優秀賞 阿蘇観光道路「いこい通り」
環境美化ボランティア団体（竹原区）
- 狩尾西産水会
- 優秀賞 狩尾東産水会
- 佳作 おごもり花公園 / 内牧1区
阿蘇市老人クラブ連合会一の宮支部小嵐会
内牧花原川を守る会 / 跡ヶ瀬のぎくの会

今年は「地域に貢献」をテーマに11月5日開催された阿蘇高校の文化祭で、1年4組の生徒が日本3大楼門の一つ阿蘇神社の修復に使ってもらおうと、チャリティーバザーを企画。益金73,500円を寄付しました。

また、このほか、今年初めての試みで、阿蘇高市場と題し学校近くの商店の品物を生徒が販売するという取り組みも行い、買い物客に丁寧に商品の説明をするなど本番の販売を経験しました。

バザーの 益金を 阿蘇神社の 桜門修復に



ご近所みんなで 手づくり文化祭

乙姫地区では、これまで小学校でのみで行っていた文化祭を区民総参加の文化祭にして、「乙姫地区に住んでよかった」と、住民が親しみを持つ地域にしていこうと第1回乙姫フェスタを実施しました。

11月5・6日、乙姫小体育館で、区民の芸術作品の展示や、区の行事の様子を撮影したビデオの放映、ステージ発表、餅つき、豚汁づくり、体験活動など盛りだくさん。特に数十年前の昔懐かしい写真を集めたコーナーでは、自分の亡くなった父親を見つたり昔の乙姫の様子に驚くなど、多彩な催しで盛況でした。



▲ステージ発表を楽しむ乙姫の皆さん

地域の愛木をライトアップして プチイベント開催

地域の人たちが幼い時から親しむ明行寺の銀杏。その愛木の一番美しい時を皆で楽しもうと、10月29日、内牧4区など商店街の有志が、ライトアップし、オカリナの演奏会や屋台を開き、夜の銀杏観賞を楽しむ催しを開催しました。

この催しの実現には、有志の活動ほか、小野崇さん(内牧4区)によるライトアップ設備の寄付協力などがありました。おかげで来年も夜の銀杏が観賞できるとメンバー。次回も、ユーモアあふれる企画が飛び出しそうです。

※明行寺の銀杏(小里)

阿蘇市指定天然記念物。樹齢：推定450年
周囲：5.5m、高さ：22m。



▲境内で行われたオカリナ演奏会

あなたは「イヌのしつけ」 どうしてる？

10月30日、阿蘇中部医師会主催の「イヌのしつけ教室」が、県畜産農業共同組合阿蘇支所で実施されました。

当日は、家族連れなどの愛犬家41人と15頭のワンちゃんに参加。獣医会から「イヌの病気と予防法について」、また阿蘇保健所から「阿蘇管内におけるイヌの苦情や野良犬の捕獲状況」などを説明、最後にT's DOG SCHOOLの坂本憲生調教師による「正しいイヌのしつけ方」が行われました。

参加者は熱心に話しを聞き、積極的に質問されていました。よく「うちのイヌは“オスワリ”も“マテ”も、何にもできないダメイヌなんですよ」といわれる方がいますが、本当は飼い主が「しつけの仕方を知らない」だけなのです。

調教師の講演では、イヌとの接し方・しつけ方を詳しく指導されました。来年度も秋に予定していますので、ぜひご参加下さい。



～相撲競技・団体で準優勝～

国民体育大会で健闘！江藤豊久君

10月22日から岡山県で開催された第60回国民体育大会・相撲競技(少年の部団体)に出場した、文徳高校3年の江藤豊久君(湯浦)ら熊本勢は強豪の中、決勝まで勝ち進みました。

団体戦は5人の勝ち数で競われ、江藤君は、決勝戦を除き6戦を白星とチームに貢献しました。内牧小学校時代から阿蘇北中、そして文徳高校と相撲一筋でがんばる江藤君。その力強い雄姿が国体の土俵で輝きました。



▲左から2番目が江藤君



▲左から岩本さん、西岡さん

阿蘇北中相撲(女子相撲)部 岩本さんらが全国大会で活躍

新相撲(女子相撲)の日本一を決める第10回全日本新相撲選手権大会が9月18日、大阪府で行われ、阿蘇北中学校1年生の岩本幸奈さん(宮地)が中学生60kg未満の部で準優勝、碧水小学校の西岡美里さん(上西黒川)が小学6年の部で3位に輝きました。

岩本さんは阿蘇北中新相撲部。女子の相撲部創設は全国でもめずらしいことです。毎日男子と同様の練習をこなすだけあって今回の大会でも1年生で決勝の舞台へ。また、西岡さんも岩下相撲道場(内牧)で週3回練習に励み、6年生とは思えぬ強さです。

第29回阿蘇郡市町村対抗駅伝が11月20日、阿蘇市役所をスタート・高森町役場をゴールする14区間45.8kmで行われ、阿蘇市からは3チームが出場するなど、全8チームで健脚を競いました。

優勝は、小国町で5年連続7回目、阿蘇市はAチームが2位でした。

区間賞は次のとおり(阿蘇市のみ)

- 5区 森本幸司(内牧5区)
- 8区 中島慎治(南宮原)
- 12区 園田将之(元黒川)
- 14区 坂田功志(南黒川)

阿蘇市 Aチーム 準優勝



▲綾瀬さん(左から2番目)と阿蘇町農産物加工部会の皆さん

綾瀬はるかさんが阿蘇市で映画ロケ

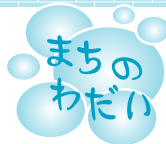
テレビドラマ「世界の中心で愛を叫ぶ」の主演(亜紀 役)で注目を浴びた綾瀬はるかさん主演の映画撮影が、11月8・9日の2日間、草千里ややまなみハイウェイ、ミルクロード沿いなどで行われました。

ロケの昼食には地元の阿蘇町農産物加工部会が、だご汁・煮しめ・漬物などを提供し、綾瀬さんをはじめスタッフ・関係者は阿蘇の郷土料理に舌をうちました。

今回の映画は、東京・大阪でに上映される予定です。

安全運転 お願いします！

～園児がドライバーに呼びかけ～



宮地保育園の園児(年長23人)と保護者の方が、11月16日、阿蘇警察署前で「交通安全キャンペーン」を行いました。

「交通安全、おねがいします」と園児達が育てたサツマイモと、保護者と一緒に考えた交通標語を書いたカードをドライバーにプレゼント。通りかかったドライバーは突然のプレゼントに驚きながらも「ありがとうございます。気をつけます」と、気を引き締め直してハンドルを握っているようでした。

阿蘇警察署交通課は、「最近、幼児～高校生の事故が多発しています。年末年始、何かと慌ただしくなると思いますが、ドライバーだけでなく、みんなで交通安全に心がけてほしい」と話していました。

噴火に備えて

～阿蘇火山防災訓練～

中岳第1火口の噴火を想定した「阿蘇火山防災訓練」が、11月22日、阿蘇山上一帯で行われました。

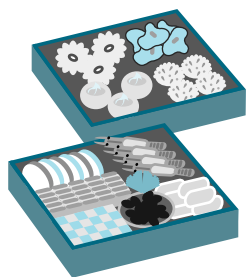
訓練には、陸上自衛隊、県警、県、阿蘇市など33機関、約400人が参加。ヘリコプターや救急車、自衛隊の装甲車を使って、負傷者を火口周辺から救出し、災害拠点病院阿蘇中央病院等へ搬送しました。

災害時には、電話回線が使用できなくなる可能性があるため、情報連絡はほとんどが無線を利用。今回初めて、九州電力やNTTも実際の復旧活動を想定して訓練に加わりました。

第1火口は、今年4月の小規模噴火以降、小康状態が続いており、現在の活動度は、やや活発な火山活動を示すレベル2となっています。



火口で負傷者をつり上げ搬送するなど、本番さながらの訓練が行われました。



おせちは、もともと日頃忙しい主婦に、おせちの目録も、おせちの重宝に詰める「煮しめ」は、阿蘇地方の「煮しめ」は、秋の収穫を彩りよく盛り付けます。

お元気ですか

～食生活改善推進員協議会～

知ってますか？

おせちの豆知識

黒豆

1年中まめ(まじめ)に働き、まめ(健康)に暮らせるように数の子

1腹にたくさんの卵があるので、子孫繁栄を願う縁起物

田作り

稲の豊作を願う気持ち、五穀豊穡の願い

えび

腰が曲がるまで丈夫にという、長寿の願い

昆布

「よろこぶ」の語呂合わせから祝儀に欠かせない素材

きんとん

財産を表し、富みを得る縁起物

紅白なます

おめでたい色、紅白の組み合わせ。

水引なますともいい、平安、平和を願う縁起物

ごぼう

細く長く慎ましく生きることを願う

おせちに詰める

料理には意味がある…